

要請文

インターステラテクノロジズ株式会社
代表取締役社長 稲川 貴大 様

現在、日本政府は新型コロナウイルス特別措置法に基づく「緊急事態宣言」の対象地域を全国に拡大し、北海道は「特定警戒都道府県」に指定されています。

全国民をあげて接触機会の8割削減に向けた外出自粛など感染症対策に取り組んでいるところであり、貴社においてもテレワークの積極的な実施など、当町において実効的な取り組みをされ、5月2日(予備日:5月3日～5月6日)観測ロケットMOMO5号機打上げ実験(以下、打上げ)の実施においては、来町自粛の呼びかけや無観客での打上げ実施、警備巡回拡充など感染拡大を防止する合理的な施策を最大限講じられたものと考えております。

当町として宇宙のまちづくりの推進と町民が安心して生活できる環境の両立に向け対応を検討して参りましたが、来町自粛の呼びかけに応じない見学者の出入りを不安に感じる町民の声もあり、5月6日までの期間の打上げでは、町民の不安を払拭するのに十分な対策を講じることは困難な状況であると考えています。

本来、ロケット打上げ事業は北海道による自粛要請事業の対象外であり、今回の要請は貴社にとって主要業務である打上げ事業の延期を求めるものであり、通常であれば受け入れ難い要請であろうとは思いますが、当期間中の打上げを延期していただきますよう強く要請いたします。なお、要請に従っていただけない場合は、予定されている打上げに対して当町職員による支援をすることはできません。

当町としましては、宇宙事業を実施されている貴社のこれまでの取り組みや貢献を高く評価しており、今後とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応を引き続き行いつつ、打上げ実施に向け貴社と協力してまいります。

令和2年4月28日

大樹町長 酒森 正人